

公 共 政 策 学 研 究 科

（一般選抜・社会人特別選抜）

1 募 集 人 員

夏期実施分

（博士前期課程）

専攻名	選抜試験名	募集人員
公共政策学専攻	一般選抜	6名
	社会人特別選抜	
福祉社会学専攻	一般選抜	6名
	社会人特別選抜	

冬期実施分

（博士前期課程）

専攻名	選抜試験名	募集人員
公共政策学専攻	一般選抜	若干名
	社会人特別選抜	
福祉社会学専攻	一般選抜	若干名
	社会人特別選抜	

（博士後期課程）

専攻名	選抜試験名	募集人員
公共政策学専攻	一般選抜	2名
	社会人特別選抜	
福祉社会学専攻	一般選抜	2名
	社会人特別選抜	

2 出 願 資 格

博士前期課程

〈一般選抜〉

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者、又は平成31年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者、又は平成31年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、又は平成31年3月修了見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認められた者
- (7) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者、又は平成31年3月31日までに22歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(7)のいずれかに該当し、かつ、平成31年4月1日現在、3年以上の社会経験を有する者、あるいは1年以上の雇用の継続が見込まれる者、またはそれに準ずる者

出願を希望する者は、あらかじめ研究科が行う事前面接を受け、出願の了解を得ることが必要です。

（連絡先：学生部学務課入試担当 電話 075-703-5144）

博士後期課程

〈一般選抜〉

次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 修士の学位を授与された者、又は大学院修士課程を平成31年3月修了見込みの者
- (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 文部科学大臣の指定した者

- (4) 外国において学校教育における17年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績をもって修得したものと本学大学院において認められた者
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者、又は平成31年3月31日までに24歳に達する者

〈社会人特別選抜〉

上記(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ、平成31年4月1日現在、3年以上の社会経験を有する者、あるいは1年以上の雇用の継続が見込まれる者、またはそれに準ずる者

出願を希望する者は、あらかじめ研究科が行う事前面接を受け、出願の了解を得ることが必要です。

(連絡先：学生部学務課入試担当 電話 075-703-5144)

- (注) 外国人留学生で入学を志望する者は、あらかじめ当該研究科の了承を得ることが必要です。
詳細は、「平成31年度外国人留学生入学案内(大学院)」を参照してください。

3 出願資格における個別の入学資格審査について

博士前期課程の出願資格(7)及び博士後期課程の出願資格(5)に該当する志願者は、出願の前に本学大学院において入学資格認定のための個別の入学資格審査を行います。

なお、審査の申請手続は次のとおりですが、申請には本学所定の用紙等が必要です。所定の用紙を本学ホームページに掲載していますのでダウンロードして使用してください。TEL(075-703-5144)

(1) 申請書類

資格審査申請書、履歴書、研究計画書、活動自己申告書、最終学歴の学校長が発行する卒業・修了証明書及び成績証明書

(2) 申請方法

審査を受けようとする者は、申請書類を取りそろえて、下記により提出してください。

ア 申請期間

夏期実施分

平成30年 6月26日(火)～平成30年 7月3日(火)(受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。)

冬期実施分

平成30年10月23日(火)～平成30年11月2日(金)(受付は午前9時から午後5時まで。ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。)

イ 申請書類の提出先

京都府立大学学生部学務課入試担当

(3) 審査方法等

審査は、提出書類による書類審査とします。なお、審査結果は出願開始期日までに申請者あて書面で通知します。

4 身体等に障害のある入学志願者との事前相談

(1) 事前相談等

入学を志願する人で、身体等に障害(学校教育法施行令第22条の3に定める程度、その他これに準じるもの)があり、受験及び修学上特別の配慮を必要とする場合は、あらかじめ本学へ連絡し相談してください。

- (2) 相談の時期
- | | |
|-------|------------------------------|
| 夏期実施分 | 平成30年 6月26日(火)～平成30年 7月3日(火) |
| 冬期実施分 | 平成30年10月23日(火)～平成30年11月2日(金) |

5 願書受付期間

夏期実施分

- (1) 平成30年7月26日(木)から8月2日(木)まで(ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。)
- (2) 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。
- (3) 郵送の場合は、8月2日(木)午後5時までに到着したものとします。
ただし、期間後到着した場合は、8月1日(水)以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

冬期実施分

- (1) 平成31年1月4日(金)から1月10日(木)まで(ただし、土曜日・日曜日・祝日は除きます。)
- (2) 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。
- (3) 郵送の場合は、1月10日(木)午後5時までに到着したものとします。
ただし、期間後到着した場合は、1月9日(水)以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

6 願書提出先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学学生部学務課入試担当
電話 (075) 703-5144 (直通)

7 出願手続

入学志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう入試担当に提出してください。

必要書類	注意事項等
(1) 入学願書等 (裏面の履歴も記入のこと)	本学所定の用紙(受験票含む)に必要な事項を記入のうえ、出願前3か月以内に撮影した写真(単身、脱帽、上半身、正面向きのもの、横3cm×縦4cm)2枚を願書の所定の位置に貼り付けてください。
(2) 卒業(見込)証明書 [博士後期課程は、 修了(見込)証明書]	2 出願資格を証明するもの
(3) 成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの
(4) 研究計画書	本学所定の用紙に必要な事項を記入してください。
(5) 論文 (冬期実施分のみ) 公共政策学専攻及び 福祉社会学専攻共通	<p>博士前期課程</p> <p>公共政策学専攻については、学力試験(筆記試験)の「総合(小論文)」を受験することにより、論文(卒業論文を含む。)の提出に代えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜… 出願の際に論文(卒業論文を含む。)(写し)(日本語に限る。)を2部提出してください。 ・社会人特別選抜… 出願の際に論文(写し)(日本語に限る。)を2部提出してください。 <p>*論文は、12,000字～20,000字程度のもので、過去5年以内に執筆されたものとし、学術論文等の刊行物がある場合はそれに代えることができます。 (*提出された論文は返却しません。)</p> <p>博士後期課程</p> <p>修士論文(写し)又はそれに代わるもの(日本語に限る。)を4部提出してください。(*提出された修士論文等は返却しません。)</p> <p>なお、修士論文(写し)等については、平成31年1月31日(木)午後5時までに必着で学生部学務課入試担当あて郵送または入試担当窓口へ提出してください。</p>
(6) 入学考査料	<p>30,000円</p> <p>(1) 本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。(A票への金融機関押印により入金を確認します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 京都銀行から振り込む場合、手数料無料 ② その他の金融機関から振り込む場合、所定の手数料が必要ただし、ゆうちょ銀行(郵便局)からの振り込みはできません。 <p>(2) 金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行(郵便局)の普通為替証書を同封してください。(普通為替証書発行には料金430円が必要)普通為替証書の受取人欄等については、記入しないでください。</p> <p>*博士後期課程を受験する者のうち、平成31年3月本学大学院公共政策学研究科博士前期課程修了見込みの者については不要です。</p>
(7) 返信用封筒	本学所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を記載し、郵便切手(392円)を貼ってください。
(8) 連絡用宛名シール	本学所定の用紙に記入してください。

○ 注意事項

- ① 入学願書等の請求、提出、照会はすべて入試担当あてとし、郵便で入学願書等を請求するときは、請求用の封筒には「公共政策学研究科入学願書請求」と朱書して、返信用に、あて先を明記し250円の郵便切手を貼った封筒角形2号(33.2cm×24.0cm)を同封してください。また、入学願書等の提出は所定の封筒を使用し、郵送される場合は必ず「書留速達」郵便とってください。
- ② 入学願書受付後は、願書記載事項の変更は認めません。また、提出書類及び入学考査料はお返ししません。

8 入学者選考方法

本学研究科が指定する選抜方法の科目（小論文、面接を含む）を1科目でも受験していない場合、失格となります。

夏期実施分（公共政策学専攻及び福祉社会学専攻共通）

博士前期課程

選考は、学力試験（筆記試験）、口述試験及び出身大学の成績証明書を総合して行います。

〈一般選抜〉

- (1) 学力試験（筆記試験）は、専門科目及び英語について行います。英語については、英和辞典（電子辞書を除く。）1冊を持ち込むことができます。
- (2) 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び「総合（小論文）」の内容について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

基礎※1	法律学・政治学・経済学・社会福祉学・社会学・教育学・心理学の7分野から1分野を選択
総合（小論文）	2題中1題を選択

※1 出願の際に選択する分野をあらかじめ申し出てください。

〈社会人特別選抜〉

- (1) 学力試験（筆記試験）は、専門科目について行います。
 - (2) 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「総合（小論文）」の内容について行います。
- 専門科目の内容は、次のとおりです。

総合（小論文）	2題中1題を選択
---------	----------

冬期実施分

博士前期課程

○公共政策学専攻

選考は、論文（卒業論文を含む。）等の評価、学力試験（筆記試験）、口述試験及び出身大学の成績証明書を総合して行います。

〈一般選抜〉

- (1) 学力試験（筆記試験）は、専門科目及び英語について行います。英語については、英和辞典（電子辞書を除く。）1冊を持ち込むことができます。
- (2) 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び論文（卒業論文を含む。）または「総合（小論文）」の内容について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

基礎※1	法律学・政治学・経済学・社会福祉学・社会学・教育学・心理学の7分野から1分野を選択
総合（小論文）※2	2題中1題を選択

※1 出願の際に選択する分野をあらかじめ申し出てください。

※2 「総合（小論文）」を受験することにより、論文（卒業論文を含む。）の提出に代えることができます。

〈社会人特別選抜〉

- (1) 学力試験（筆記試験）は、論文を提出しない場合、専門科目について行います。
 - (2) 口述試験は、研究計画書、論文または専門科目試験の「総合（小論文）」の内容について行います。
- 専門科目の内容は、次のとおりです。

総合（小論文）※2	2題中1題を選択
-----------	----------

※2 「総合（小論文）」を受験することにより、論文等の提出に代えることができます。

○福祉社会学専攻

〈一般選抜〉

- (1) 選抜は、論文（卒業論文を含む。）の評価、学力試験（筆記試験）及び口述試験の結果と出身大学の成績証明書を総合して行います。
- (2) 学力試験（筆記試験）は、専門科目及び英語について行います。英語については、英和辞典（電子辞書を除く。）1冊を持ち込むことができます。
- (3) 口述試験は、研究計画書、専門科目試験の「基礎」及び論文（卒業論文を含む。）の内容について行います。

専門科目の内容は、次のとおりです。

基 礎※1	法律学・政治学・経済学・社会福祉学・社会学・教育学・心理学の7分野から1分野を選択
-------	-------------------------------------------

※1 出願の際に選択する分野をあらかじめ申し出てください。

〈社会人特別選抜〉

- (1) 選抜は、論文の評価及び口述試験の結果と出身大学等の成績証明書を総合して行います。
- (2) 口述試験は、研究計画書及び論文等の内容について行います。

博士後期課程（公共政策学専攻及び福祉社会学専攻共通）

〈一般選抜〉

- (1) 選抜は、修士論文等の評価、学力試験（筆記試験）及び口述試験の結果と研究計画書等を総合して行います。
- (2) 学力試験（筆記試験）は、英語について行います。英和辞典（電子辞書を除く。）1冊を持ち込むことができます。ただし、本研究科の博士前期課程に一般選抜で入学し、課程を修了した者、又は修了見込みの者には、学力試験を課しません。
- (3) 口述試験は、志願者が希望する学問分野における専門的知識、提出論文の内容等に関して行います。

〈社会人特別選抜〉

- (1) 選抜は、修士論文等の評価、学力試験（筆記試験）及び口述試験の結果と研究計画書等を総合して行います。
- (2) 学力試験（筆記試験）は、総合（小論文）について行います。
- (3) 口述試験は、志願者が希望する学問分野における専門的知識、提出論文の内容等に関して行います。

9 学力試験等の日時及び試験場

(1) 日 時

夏期実施分

博士前期課程

月 日	専 攻	区 分	科 目	時 間
平成30年9月11日（火）	公共政策学専攻 及び 福祉社会学専攻	一 般 選 抜	総合（小論文） 基 礎 英 語 口 述 試 験	9時00分～10時30分 11時00分～12時00分 13時00分～14時30分 15時00分～
		社会人特別選抜	総合（小論文） 口 述 試 験	9時00分～10時30分 13時00分～

冬期実施分

博士前期課程

月 日	専 攻	区 分	科 目	時 間
平成31年2月2日（土）	公共政策学専攻	一 般 選 抜	総合（小論文） 基 礎 英 語 口 述 試 験	9時00分～10時30分 11時00分～12時00分 13時00分～14時30分 15時00分～
		社会人特別選抜	総合（小論文） 口 述 試 験	9時00分～10時30分 13時00分～
	福祉社会学専攻	一 般 選 抜	基 礎 英 語 口 述 試 験	11時00分～12時00分 13時00分～14時30分 15時00分～
		社会人特別選抜	口 述 試 験	13時00分～

博士後期課程

月 日	専 攻	区 分	科 目	時 間
平成31年2月12日(火)	公共政策学専攻	一 般 選 抜	英 語 口 述 試 験	10時00分～11時30分 13時00分～
		社会人特別選抜	総合(小論文) 口 述 試 験	10時00分～11時30分 13時00分～
	福祉社会学専攻	一 般 選 抜	英 語 口 述 試 験	10時00分～11時30分 13時00分～
		社会人特別選抜	総合(小論文) 口 述 試 験	10時00分～11時30分 13時00分～

(2) 試験場 京都府立大学

(3) 学力試験等受験についての注意事項

ア 試験当日は、指示された時間の30分前までに試験場に集合してください。

イ 学力試験場(室)への携帯品は、受験票、黒の鉛筆またはシャープペンシル(筆記機能のみ)、鉛筆削り(電動式を除く)、消しゴム、腕時計(計時機能のみ)に限ります。

ウ 志願者に対し宿泊施設の斡旋等はありません。

10 合格発表

夏期実施分

博士前期課程

平成30年9月18日(火)正午に合格者の受験番号を本学の掲示板に発表します。

冬期実施分

博士前期課程

平成31年2月 8日(金)正午に合格者の受験番号を本学の掲示板に発表します。

博士後期課程

平成31年2月20日(水)正午に合格者の受験番号を本学の掲示板に発表します。

また、本学ホームページ(<http://www.kpu.ac.jp/>)にも合格者の受験番号を掲載します。

合格者には、後日、合格通知等を郵送します。

なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

公 共 政 策 学 研 究 科 (地方自治体等推薦入学)

1 募 集 人 員

冬期実施分

専 攻 名	課 程	入学定員	募集人員
公 共 政 策 学 専 攻	博士前期課程	6 名	若干名

2 出 願 資 格

下記(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、大学が指定する地方自治体等に在籍する者で所属の長の推薦を受けた者とします。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学士の学位を授与された者
- (3) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

3 出 願 期 間

- (1) 平成31年1月31日(木)から2月1日(金)まで
- (2) 期間中は午前9時から午後5時までとします。
- (3) 郵送の場合は2月1日(金)午後5時までに到着したものとします。
ただし、期間後到着した場合は、1月31日(木)以前の消印のある書留速達郵便に限り受け付けます。

4 願 書 提 出 先

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 京都府立大学学生部学務課入試担当
電 話 (075) 703-5144 (直通)

5 出 願 手 続

入学志願者は次の書類を取りそろえ、願書受付期間内に到着するよう入試担当に提出してください。

必 要 書 類	注 意 事 項 等
(1) 入 学 願 書 等 (裏面の履歴も記入のこと)	本学所定の用紙(受験票含む)に必要な事項を記入のうえ、出願前3か月以内に撮影した写真(単身、脱帽、上半身、正面向きのもの、横3cm×縦4cm)2枚を願書の所定の位置に貼り付けてください。
(2) 卒 業 証 明 書	2 出願資格を証明するもの 2 出願資格の(3)に該当する者は、本学所定の大学院入学資格認定申請書及び活動自己申告書を併せて提出してください。
(3) 成 績 証 明 書	出身大学長又は学部長が作成したもの
(4) 推 薦 書	在籍する所属の長が作成したもの
(5) 研 究 計 画 書	研究計画書(2,000字程度)を1部提出してください。
(6) 入 学 考 査 料	30,000円 (1) 本学所定の「入学考査料振込依頼書」により、銀行または信用金庫等の金融機関から振り込んでください。(A票への金融機関押印により入金を確認します。) ① 京都銀行から振り込む場合、手数料無料

	<p>② その他の金融機関から振り込む場合、所定の手数料が必要 ただし、ゆうちょ銀行からの振り込みはできません。</p> <p>(2) 金融機関から振り込めない場合は、ゆうちょ銀行の普通為替証書を同封してください。(普通為替証書発行には所定の料金が必要) 普通為替証書の受取人欄等については、記入しないでください。</p>
(7) 返信用封筒	本学所定の封筒に郵便番号、住所、氏名を記載し、郵便切手（392円）を貼ってください。
(8) 連絡用宛名シール	本学所定の用紙に記入してください。

○ 注 意 事 項

- ① 入学願書等の提出は所定の封筒を使用し、郵送される場合は必ず「書留速達」郵便としてください。
- ② 入学願書受付後は、願書記載事項の変更は認めません。また、提出書類及び入学審査料はお返ししません。

6 入学者選考方法

書類審査及び面接試験により行います。

7 試験日及び試験場

- (1) 試験日
平成31年2月12日（火）（試験時間は、受験票交付の際に指示します。）
- (2) 試験場
京都府立大学
- (3) 学力試験等受験についての注意事項
 - ア 試験当日は、指示された時間の30分前までに試験場に集合してください。
 - イ 学力試験場（室）への携帯品は、受験票、黒の鉛筆またはシャープペンシル（筆記機能のみ）、鉛筆削り（電動式を除く）、消しゴム、腕時計（計時機能のみ）に限ります。
 - ウ 志願者に対し宿泊施設の斡旋等はありません。

8 合格発表

合格者には平成31年2月20日（水）正午に合格者の受験番号を本学の掲示板に発表します。

また、本学ホームページ(<http://www.kpu.ac.jp/>)にも合格者の受験番号を掲載します。

合格者には、後日、合格通知等を郵送します。
なお、電話その他による問い合わせには応じられません。

公共政策学 研究科 概要

【公共政策学専攻】 博士前期課程・博士後期課程

1 目的と教育課程

公共政策学専攻の目的は、福祉社会を創造するため、自治体や住民が進める地域づくりに、政策立案や地域社会での合意形成、事業の管理運営などの面で寄与しうる研究者や高度な専門的能力を有する職業人を養成することである。そのために、指導する教員は、法学、経済学、政治学といった幅広い専門分野から構成されており、前期課程・後期課程においてそれぞれ以下のような教育課程を編成している。

博士前期課程の教育課程

特講等	公共政策論特講Ⅰ・Ⅱ 公共政策論研究 福祉社会論研究 福祉社会論特講Ⅰ・Ⅱ 労働法特講Ⅰ・Ⅱ 地域社会論特講Ⅰ・Ⅱ 民法特講Ⅰ・Ⅱ 英米法特講Ⅰ・Ⅱ 地方財政論特講Ⅰ・Ⅱ 環境政策特講Ⅰ・Ⅱ 行政法特講Ⅰ・Ⅱ 政治学特講Ⅰ・Ⅱ 政策形成論特講 政策評価論特講 公共経済学特講 マクロ経済学特講Ⅰ・Ⅱ
演習・研究指導	公共政策論演習 福祉社会論演習 労働法演習 民法演習 地域社会論演習Ⅰ・Ⅱ 地方財政論演習 環境政策論演習 行政法演習 政治学演習 政策評価論演習 キャップストーン 研究指導

博士後期課程の教育課程

公共政策学特殊研究演習Ⅰ（公共政策）	公共政策学特殊研究演習Ⅱ（福祉社会）
公共政策学特殊研究演習Ⅲ（労働法）	公共政策学特殊研究演習Ⅳ（民法）
公共政策学特殊研究演習Ⅴ（地域社会）	公共政策学特殊研究演習Ⅵ（地方財政）
公共政策学特殊研究演習Ⅶ（行政法）	公共政策学特殊研究演習Ⅷ（政治学）
公共政策学特殊研究演習Ⅸ（政策評価）	公共政策学特殊研究演習Ⅹ（環境政策）
公共政策学研究指導	

2 修了要件と履修方法

前期課程では、2年以上（4年以内）在学して、必修科目（公共政策論特講Ⅰ 2単位、演習4単位、研究指導4単位）計10単位を含む30単位以上を修得した上で、修士論文の審査・試験に合格すること。なお、福祉社会学専攻の科目で修得した12単位までをこれに含めることができる。学位・称号は修士（公共政策学）とする。

後期課程では、3年以上（6年以内）在学して、公共政策学研究指導4単位、研究指導を受けようとする教員が担当する公共政策学特殊研究演習4単位の計8単位を修得した上で、博士論文の審査・試験に合格すること。学位・称号は博士（公共政策学）とする。

【福祉社会学専攻】博士前期課程・博士後期課程

1 目的と教育課程

福祉社会学専攻の目的は、福祉社会における人間発達の可能性と筋道を研究し、地域福祉や個別援助に関する福祉課題の解決能力を有して福祉コミュニティの形成を担い、また、地域・学校・職場などにおいて福祉教育をコーディネートできる、高度な専門的能力を有する研究者や高度な職業人を養成することである。そのために、指導する教員は社会福祉学・社会学・心理学・教育学といった幅広い専門分野から構成されており、前期課程・後期課程においてそれぞれ以下のような教育課程を編成している。

博士前期課程の教育課程

特講等	福祉社会論特講 福祉社会論研究 比較社会福祉論特講Ⅰ・Ⅱ 社会福祉方法論特講Ⅰ・Ⅱ 社会福祉政策論特講 精神保健福祉論特講Ⅰ・Ⅱ 社会病理学特講Ⅰ・Ⅱ 環境社会学特講Ⅰ・Ⅱ 社会集団論特講 社会心理学特講Ⅰ・Ⅱ 認知心理学特講Ⅰ・Ⅱ 人格発達論特講Ⅰ・Ⅱ 教育福祉論特講Ⅰ・Ⅱ 障害学特講Ⅰ・Ⅱ 社会教育学特講Ⅰ・Ⅱ
演習・研究指導	比較社会福祉論演習Ⅰ・Ⅱ 社会福祉方法論演習 社会福祉政策論演習 社会病理学演習 環境社会学演習Ⅰ・Ⅱ 地域生涯学習論演習Ⅰ・Ⅱ 教育福祉論演習Ⅰ・Ⅱ 認知心理学演習Ⅰ・Ⅱ 精神保健福祉論演習Ⅰ・Ⅱ 発達教育学演習Ⅰ・Ⅱ 研究指導

博士後期課程の教育課程

福祉社会学特殊研究演習Ⅰ（比較社会福祉）	福祉社会学特殊研究演習Ⅱ（社会福祉方法）
福祉社会学特殊研究演習Ⅲ（社会福祉政策）	福祉社会学特殊研究演習Ⅳ（社会病理学）
福祉社会学特殊研究演習Ⅴ（生涯発達・学習）	
福祉社会学特殊研究演習Ⅵ（教育福祉専門職）	福祉社会学特殊研究演習Ⅶ（環境社会学）
福祉社会学特殊研究演習Ⅷ（精神保健福祉）	福祉社会学特殊研究演習Ⅸ（発達教育学）
福祉社会学特殊研究演習Ⅹ（認知心理学）	福祉社会学研究指導

2 修了要件と履修方法

前期課程では、2年以上（4年以内）在学して、必修科目（福祉社会論特講2単位、演習4単位、研究指導4単位）計10単位を含む30単位以上を修得した上で、修士論文の審査・試験に合格すること。なお、公共政策学専攻の科目で修得した12単位までをこれに含めることができる。学位・称号は、修士（福祉社会学）とする。

後期課程では、3年以上（6年以内）在学して、福祉社会学研究指導4単位、研究指導を受けようとする教員が担当する福祉社会学特殊研究演習4単位の計8単位を修得した上で、博士論文の審査・試験に合格すること。学位・称号は、博士（福祉社会学）とする。